

大学名 香川大学

第70号 特集テーマ「博士人材の活躍」

表題 持続可能な社会の実現に貢献する分野融合型博士人材養成課程の開設

【取組概要】

香川大学は、地域で求められる知識や能力、技術等を「総合知」として捉え、**分野融合を可能とする博士人材の養成**として、工学研究科博士後期課程を基に、「創発科学研究科創発科学専攻(博士後期課程)」を令和6年4月に開設します。

〈経緯〉

香川大学は、令和4年4月に、教育学研究科(高度教職実践専攻を除く)、法学研究科、経済学研究科、工学研究科(博士課程(前期))の4つの研究科を統合し、急激かつ複合的で予見不能な社会構造の変化に柔軟に対応しながら、新たな社会課題を発見し、解決に向けて取り組むことを通して、持続可能な社会の実現に貢献することを理念として「創発科学研究科創発科学専攻(修士課程)」を開設し、引き続き、博士後期課程を開設します。現行の創発科学研究科の修士課程は、博士前期課程とし、本研究科は区分制博士課程となります。



〈創発科学研究科長と修士課程学生による懇談会〉

【博士後期課程の教育理念】

「創発科学」とは、特定の学問分野を示すものではなく、各分野の能力を組み合わせ、異分野と効果的に相互作用させることにより分野の総和にとどまらない画期的な知や解決策を導出する学習や研究活動の規範を意味します。このような「創発科学」の素養を持ち、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を行うことを教育理念としています。特に、博士後期課程では、「総合知」の考えに基づき、幅広く体得した知識を駆使し、学術的に評価が高く、かつ新たな手法で課題解決を図るのみならず、産学連携を駆使した手法によって、**研究成果を社会実装する人材の育成**を目指しています。

【博士後期課程開設に対する地域の期待】

第一次産業(農林水産等)の革新的改革や第6次産業化、南海トラフ地震発生に備えたソフト、ハード面での整備と国土強靱化の実現など、地域の解決すべき喫緊の課題が多く、大学との協働を通じて諸課題の解決を図る必要性や高度な人材養成への期待や要望があります。

香川県では、職員のリカレント教育策を拡充する方針にあり、中でも博士人材の養成課程に関する期待があり、企業(特に地域企業)からも、博士の学位を持った者に、軸となる専門性に基づく高度な研究力に留まらず、分野の枠を超えた俯瞰的な視野のもとにビジネスチャンスを見出せるスキル、新たな製品開発をデザインできるスキル、複雑化する地域課題の発見とそれを解決するスキル、リスクを理解し、かつマネジメントできるスキル、DX、IoTを駆使して地域振興に資するスキル、そして数理データサイエンス・AIの技術を地域イノベーションに結び付けるスキル等が求められ、これらの要望に応じて、香川大学は、創発科学研究科(博士前後期課程)を開設することとしました。

